

「市民共同発電所」をみんなの手で

「市民共同発電所」とは、風力・太陽光など二酸化炭素(CO₂)をほとんど出さない「自然エネルギー発電所」を、市民が費用を分担して地域に設置する取り組みです。これまで全国各地で、市民グループの手により自然エネルギー発電所が100ヶ所以上も生まれています。



「おひさま発電所」の完成を祝う点灯式です。おひさまの電気で見事に点灯!
(伏見区・向島保育園)



子どもたちに発電量を知らせるオリジナルの表示盤
(山科区・大宅保育園)

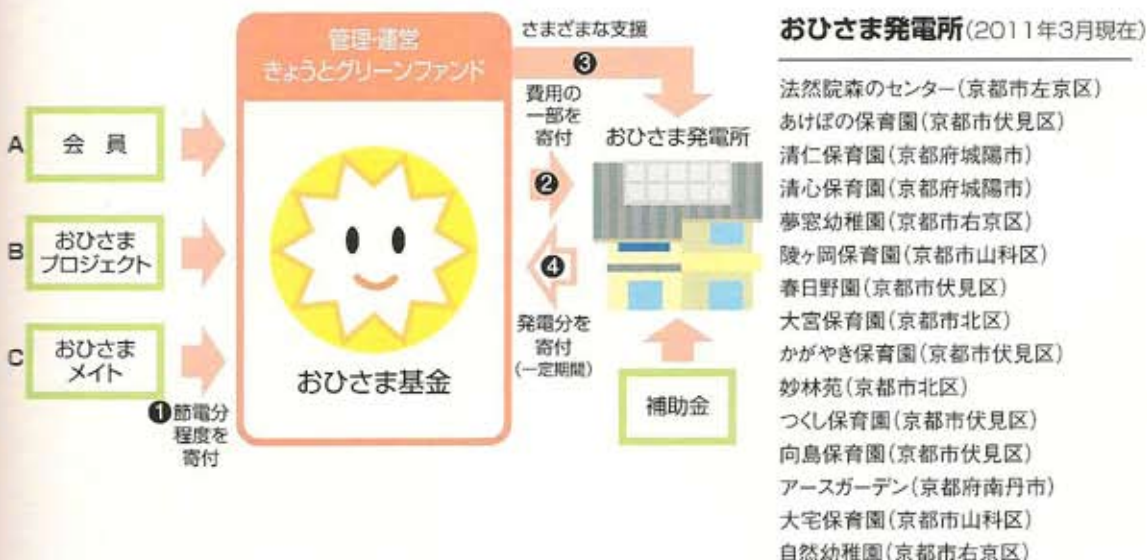


温暖化や省エネの話を復話術でわかりやすく子どもたちに伝えています(山科区・大宅保育園)

京都でひろがる「おひさま発電所」～NPO法人きょうとグリーンファンド

京都では、「NPO法人きょうとグリーンファンド」が、自然エネルギーを広める活動を続けています。「節電・省エネ」と「自然エネルギーの普及」を目標に、市民や団体が節電・省エネした一部を寄付し、「おひさま基金」として積み立てています。この基金は、地域の公共施設(たとえば幼稚園・保育園・共同作業所など)に、太陽光発電設備を設置したり、地域で環境学習をする費用に使われます。これまで「おひさま発電所」を15ヶ所(2011年3月現在)設置してきました。

「おひさま発電所」となった施設では、発電した電気料金に相当するお金の一部を「おひさま基金」に寄付しています。このようにして京都に「おひさま発電所」が増え、自然エネルギー普及が進んでいます。



■NPO法人きょうとグリーンファンド
〒600-8104 京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143いづつビル6F TEL/FAX. 075-352-9150(火～金/午後1時～5時)
ホームページ:<http://www.kyoto-gf.org/> メールアドレス:info@kyoto-gf.org

京都では市役所をはじめ、さまざまな市民団体や企業が地球温暖化防止に向け、いろいろな取り組みを進めています。みなさんも、学校や家庭でできる活動を考えてみましょう!

市民で進める地球温暖化防止